

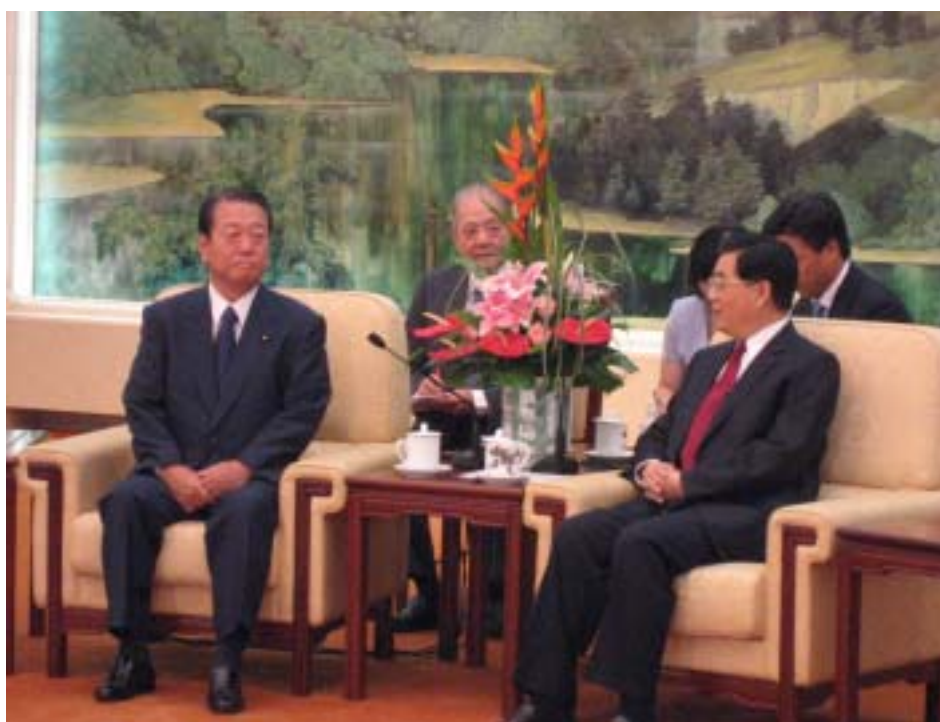
2006年7月11日

第376回常任幹事会提出資料(報告事項)

民主党代表中国訪問団

2006年7月3日(月)～7月6日(木)

(報告書)



1. 日 程

2006年7月3日(月)～7月6日(木)(4日間)

2. 団構成

(国会議員)

小沢一郎	代表	衆議院議員
菅 直人	代表代行	衆議院議員
鳩山由紀夫	幹事長	衆議院議員
山岡賢次	副代表	衆議院議員
輿石 東	参議院議員会長	参議院議員
細野豪志	役員室長	衆議院議員
大塚耕平	役員室長代理	参議院議員
森ゆうこ	国際局副局長	参議院議員

(随員)

鳩山 幸 鳩山幹事長夫人

(随行職員・スタッフ)

樋口博康	役員室部長代理
須川清司	政策調査会部長代理
岸 圭介	役員室副主査
徳久富彦	小沢一郎事務所秘書
池田光智	小沢一郎事務所秘書
宇都清信	警視庁警護官

(同行プレス) 17名

3. 目 的

アジア、国際社会における日中関係の重要性に鑑み、小沢代表就任後、初めての外国訪問として中国を訪れ、要人と会談し、交流を深め、さらなる相互理解と友好関係の発展を図る。

4. 日程概要

日 時	内 容	場所・その他
7月3日(月)		
10:35	成田発 全日空 905 便	
14:00	北京着。北京飯店へ。	
15:30	宮本雄二 駐中国日本国大使による中国情勢ブリーフ	北京飯店会議室
16:30	王家瑞 中国共産党中央対外連絡部(中連部)部長との会	中連部
- 17:30	唐家璇国務委員との会談	

18:00 - 18:30 18:30 - 20:00 (20:05) 20:30	歓迎夕食会（唐家璇国務委員主催） (鳩山幹事長夫妻、全日空 955 便で北京着。) 記者ブリーフ（山岡副代表、細野役員室長）	釣魚台国賓館 釣魚台国賓館 北京飯店会議室 (北京飯店 泊)
7月4日(火) 午前 16:10 - 17:00 18:15 - 18:45 18:45 - 20:00	各自個人日程 胡錦濤 中国共産党総書記・国家主席との会談 小沢代表による記者ブリーフ 歓迎夕食会（周強 中国共産党青年団中央第一書記主催）	人民大会堂・福建の間 北京飯店 18 階会議室 北京飯店 19 階 (北京飯店 泊)
7月5日(水) 07:00 08:20 - 08:40 09:00 10:00 12:00 13:30 15:20 16:30 18:00 18:30 - 20:00	鳩山幹事長、北朝鮮ミサイル問題で日程変更し帰国。 (9:40 CA 9 2 5 便で北京発、13:55 成田着) 北朝鮮ミサイル問題で、李軍 中連部二局局長と会談し、中国側へ協力要請の申し入れ。 周済 教育部部長との会談 天津へ移動 歓迎昼食会（皮黔生 中国共産党天津市委員会常務委員・滨海新区管理委員会主任主催） 滨海新区視察 天津市街へ移動 周恩来記念館訪問 劉勝玉 中国共産党天津市委員会副書記との会談 歓迎夕食会（劉勝玉 天津市委員会副書記主催）	北京飯店会議室 教育部 天津市滨海新区會議センター 滨海新区開発展示場 周恩来記念館 天津市迎賓館 天津市迎賓館 (天津シェルトホテル 泊)
7月6日(木) 09:00 11:00 12:00 13:15 14:35	天津から北京へ移動。 小沢代表が武大偉 外交部副部長と北朝鮮ミサイル問題で会談。 歓送昼食会（王家瑞 中連部長主催） 空港へ移動 小沢代表、個別日程のため CA1655 便で瀋陽へ。	中国外交部 中連部

14:45 19:05	民主党中国訪問団、NH906便で成田へ。 民主党中国訪問団、成田着。	
小沢代表日程 15:45 17:30	小沢代表一行、瀋陽着。ホテルへ。 李克強 中国共産党遼寧省書記との会談。会談後、歓迎夕食会。	遼寧省迎賓館(国際会議センター) (マリオットホテル 泊)
7月7日(金) 12:00 - 13:00 13:10 17:00 18:00 - 18:40 19:00	陳政高 瀋陽市党委員会書記との会談。会談後、昼食会。 大連へ移動。 ホテル着 張成寅 大連市党委員会書記との会談 同行記者懇談	(大連シャングリホテル 泊)
7月8日(土) 08:00 午前 13:15 17:40	夏徳仁 大連市長との会談と朝食会。 市内視察 全日空904便にて大連発 成田着。	大連シャングリホテル内

5. 総括

胡錦濤 中国共産党総書記・国家主席と小沢代表とのトップ会談で、アジア、国際社会における日中関係の重要性をふまえて、両党・両国のさらなる友好・協力関係の発展のために両党が連携・協力を深めていくことで一致した。

その具体化として、小沢代表より、前原前代表訪中時にも提案した両党間で政治家が定期的・経常的に協議・交流をおこなっていく場として、「交流協議機構」(仮称)を設置することを提案し合意した。民主党側は、菅代表代行を機構長、輿石参議院議員会長を副機構長、山岡副代表を秘書長とし、中国共産党側は、王家瑞中連部長が機構のトップとなり、年内に第一回の会合を開催する方向で、準備、手続きを進めることとなった。

加えて、唐家璇国務委員はじめ中国要人と、忌憚のない意見交換を行い、相互理解とさらなる友好・協力の促進にむけての認識を共有することができた。中国側からも今回の代表訪中に対して、高い評価が表明された。

5日早朝、北朝鮮が7発のミサイルを発射したことを受けて、現地において、小沢代表が緊急に中連部、外交部と会談し、対応について中国側のさらなる協力を申し入れた。

6. 会談概要（参考）

7月3日（月）16：30～17：20

●王家瑞 中国共産党中央対外連絡部部長との政治会談（@中連部）

小沢代表は、日中の長い友好の歴史を踏まえながら、両国は今後も手を取り合って協力関係を深めるべきであるという民主党の基本的な考え方を伝えた。日中間の政治的な障害についても、感情に訴える議論を戒め、日本国民の大多数が持っている日中友好の精神に基づき、お互いに努力していかなければならないと述べた。

王部長は、民主党代表団の訪問を大変重視していると語り、胡錦濤主席の対日政策について説明した。王部長は（日中が）「戦えば双方が損をする、和すれば互いに得をする」と言い、中国共産党と民主党との間の交流を進化させたいとの希望を表明した。小沢代表もそれに同意した。

7月3日（月）18：00～18：30

●唐家璇 国務委員との会談（@釣魚台国賓館）

小沢代表は、民主党が日中関係の重要性を十分に認識して、しっかりした日中関係をつくるということで頑張っていると表明し、政治家としても、個人としても、日中の緊密な友好関係を将来にわたり揺るぎないものにしたいと決意を述べた。

唐国務委員は、民主党訪中団を歓迎するとともに、日中両国は戦略的行動と長期的視野を持ち、日中双方とアジアの発展に資するパートナーとなるべきだと述べた。

菅代表代行は、ミサイルや拉致といった北朝鮮関連の課題について、中国がこれまで以上に北朝鮮に対する影響力を行使するよう要望した。

唐国務委員は、日本の友人が持つ関心は個人的にはよく理解できる、と述べ、朝鮮半島の非核化、平和と安定の維持、六者協議の継続等を推進することは中国にとって確固不動のことであると語った。

7月4日（火）16：10～17：00

●胡錦濤 中国共産党総書記・国家主席との会談（@人民大会堂福建の間）

冒頭、胡主席は民主党訪中団を熱烈歓迎すると述べた。小沢代表は、日中両国が協力することによって人類史的な協力ができる、と日中友好の重要性を強調し、胡主席も、日中関係は二国間にとどまらず世界的な意味を持つ、と応じた。小沢代表は、その時々に応じて、政治の事情や国柄の違いによって障害が出てくることもあるが、われわれの互いの努力によって乗り越えることができると力説し、胡国家主席も、対等な対話と交渉と協議を通じて両国間の問題を解決すべきであり、両国が各レベル・各分野において友好協力を拡大すべきである、と語った。

また、小沢代表は、前原前代表が昨年訪中した際にも提起したように、民主党と中国共産党の間に政治家同士の定期的な話し合いの場として「交流協議機構」（仮称）を設けることを提案した。胡国家主席も「積極的に考える」と賛同の意を表し、中国側の交渉責任者として、同席していた王家瑞中国共産党中央対外連絡部部長を指名した。

会談後に開かれた記者会見で小沢代表は、今回の会談を通じて、民主党と中国共産党の指導者間で、日中関係の重要性についての共通認識を持つことができたなどと所感を語った。

7月5日(水) 8:20~8:40

李軍 中国共産党中央対外連絡部二局長との会談 (@北京飯店内会議場)

同日未明に行われた北朝鮮によるミサイル発射を受け、小沢代表は急遽、中国共産党中央対外連絡部二局の李軍局長と会談し、北朝鮮によるミサイル発射問題について意見交換を行った。

小沢代表は、北朝鮮によるミサイル発射は、朝鮮半島の平和や極東の平和に対する挑戦的な行為であり、日本としても許容できない、と述べるとともに、北朝鮮が挑発的・挑戦的な行動を止めて六カ国協議に復帰するよう、北朝鮮に対して強い影響力を持つ中国から働きかけることを要請した。

7月6日(木) 11:00~11:45

武大偉 外交部副部長との会談 (@外交部)

小沢代表は、前日に引き続いて北朝鮮によるミサイル発射問題を受けた積極的な政
党外交を展開し、中国外交部の武大偉外交部副部長との間で会談を行った。

この中で小沢代表は、北朝鮮のミサイル発射は「わが国の安全にも関わる問題であり、同時に、平和と安定を求める国際社会の世論に対する挑戦的な行為」であるとし、「このような無法行為を許すことはできない」と強く述べた。

さらに、北朝鮮に対して「地域の平和と安定を脅かす行動を直ちにやめ、六カ国協議を含めた話し合いの場に無条件で早急に復帰」することを求め、「六カ国協議の開催あるいは国連安保理等の場で関係諸国と協力して事態の解決を図りたい」との考えを表明した。

小沢代表は、中国が民主党のこのような主張を北朝鮮に伝えることを武副部長に依頼するとともに、引き続き北朝鮮に働きかけを行い、情勢の安定化を図る努力を重ねるよう、中国側のさらなる協力を要請した。

これに対し、武副部長は、適切な形で小沢代表の考えを北朝鮮に伝えたい、と述べた。その後、小沢代表と武副部長は情勢分析や意見交換を行った。

以上